

1 事業概要

事務事業名 観光振興推進事務		課名	観光課	事業No.	213	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H18	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン			
			地域経済活性化プログラム2017			
法令・例規等						
事業目的	対象	飯田下伊那地域を訪れる観光客まちなかを訪れる目的を持った観光客				
	意図	タイムリーな観光情報を提供することで、滞留する観光客数を増加させる				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	中心市街地の観光案内の拠点として、まちなかインフォメーションセンターの機能を兼ね備えた、観光課の現場事務所の管理運営に努めました。		インフォメーションセンター管理費				6,940	
			公用車等の一般経費				690	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	まちなかインフォメーションから情報提供		件	37,286	21,904			
	まちなかインフォメーション利用者数		人	4,535	4,137			
29年度 決算 (千円)	予算額		7,874	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		7,630	(そ) 諸収入				
	財源の 状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		14				
一般財源		7,616						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	12	7,081	6,940	まちなかインフォメーションセンター管理費
2	1	7	1	4	10	14	793	690	観光振興一般経費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・観光案内業務において、多様なニーズに対応できる情報の収集方法、情報の発信が必要です。
上記の課題解決のための有効策	・観光案内業務で得たニーズを、情報共有するとともに、共有した情報を、有効に活用していくことが必要です。
次年度に向けての取り組み	・観光案内業務で得たニーズを、案内業務に携わる職員全員で情報共有します。 ・首都圏等における飯田の情報発信拠点や物産展等で、ニーズを活かした観光情報の発信と誘客促進に取り組みます。